

小寺正三 こむらたけ しょうさん 俳人、小説家。大正二年一月十六日大阪生れ（一九〇四

—）。早稻田大學中退。豊中市會議員、日本社會黨支那書記長など。

『近代小説』同人。俳句は白野草子城の師事し、俳誌『青々』同人、『俳

句藝苑』編集長、のち『俳句大論』發刊。

著書 『愛の記録—傷痕軍人の寄する純愛記』（昭和十九年九月）二十頁

大阪・大阪新聞社）、『玄圃の孤独』（昭和四十七年十月）頁全縁社

「金屋寺金庫」等。